

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

記入日		2018年 7月 8日	
派遣プログラム	<input type="checkbox"/> HUSA	<input checked="" type="checkbox"/> USAC	<input type="checkbox"/> UMAP
留学先大学	ネバダ大学 (国名:アメリカ)		
所属学部・学科等名	Intensive English Language Center		
在籍身分	留学生		
留学期間	2017年 8月 18日～ 2018年 5月 21日		

### 1. 留学するまで

留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	英語が勉強できる語学留学プログラムだったから。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	TOEFLの勉強を始めたのは、応募前の6月頃です。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	TOEFLの勉強をしました。また、学内の面接選考に向けて自分の考えをしっかりとめて準備しました。渡航前には予防接種を受けました。 また、お金はできるだけためていきましょう。現地に行って、いざ向こうでできた友達と旅行に行きたい、これがほしい、と思ったときにお金がないとせっかくの思い出も作れません。

### 2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類: F1
	ビザ申請先: 駐大阪・神戸米国領事館
	提出書類: DS-160、パスポート、面接予約確認ページ、I-20
	手続きに要した日数: 約2週間
その他必要な事前手続き	
出国年月日	2017年 8月 18日
経路(往路)	関空ー仁川ーシアトルーリノ
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有(大学関係者・ <u>その他</u> ) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有(期間: 2日間 内容: 授業内容・生活に関して) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2018年 5月 21日
経路(復路)	サンフランシスコーホノルルー仁川ー関空

### 3. 留学費用について

支出額	総額	1440000	円	
	内訳	渡航費（往復）	160000	円
		ビザ申請手数料	20000	円
		予防接種費用	20000	円
		保険料	80000	円
		教材費（授業料以外の学費）	30000	円
		宿舍費（住居費）	400000	円
		光熱費	0	円
		食費	400000	円
		通信費（インターネット・携帯）	30000	円
		交通費（宿舍－大学間）	0	円
		交際費	300000	円
		その他（ 費）		円
（ 費）		円		
（ 費）		円		

### 4. 授業・修学について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	Reading/Writing、Listening/Speaking のクラスがそれぞれ毎日あります。英語を使って様々なトピックの中から興味のあるものを学ぶ Integrated Skills のクラスが週に3回あります。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてのアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	授業は基本的に自分とレベルの近い人と受けるので、困ることはありませんでした。クラスは4つのレベルに分かれており、それぞれのレベルに1つか2つクラスがあります。宿題は基本的に毎日ありますが、先生によって変わります。テストはありましたがそれほど難しいものではなく、学部留学のように中間試験、期末試験に追われることはなかったです。自分のペースで勉強でき、また友達と遊ぶ時間も学部留学の人たちよりはあったと思います。クラスメイトは自分を含めて、秋セメスターは、日本人8人、韓国人3人、中国人2人、タイ人1人、コロンビア人1人、スーダン人1人、イタリア人1人、春セメスターは、日本人4人、韓国人5人、中国人2人、タイ人1人、イラン人1人、チリ人2人でした。毎年秋セメスターは日本人が多いようです。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）	ペアワークやグループワークが多く、また、プレゼンテーションも2週間に1回くらいのペースでありました。クラスの人数は10人ちょっとなので発言しやすいです。IELCの先生は経験が豊富で親しみやすく、英語以外のことに関しても気軽に聞けます。

### 5. 生活等について

#### (1) 留学先の住居について

住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他（インターナショナルハウス）		
住居の広さ	約                      m <sup>2</sup>	同居人の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（約10人） <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂		

	<input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他( )
住居費	1ヶ月当たり 380 ドル (現地通貨) 約 41000 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	シェアハウスの中でルームシェアをしていたので、住居費はかなり安かったです。寮は寮内で知り合いが増えますが、値段は高めです。カナダホール以外の寮にはキッチンはなく、基本的にミールプランを使用することになりますが、自炊するほうが格段に安く済ませられるので、キッチンがあるところをお勧めします。
(2) 医療について	
保険の加入先	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 <input type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 <input type="checkbox"/> その他( )
保険の補償内容	補償額 死亡 1億円、入院1日 1億円 その他( )
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有(種類: 3種 回数: 4回 医療機関名: 西条ときわクリニック) <input type="checkbox"/> 無
留学先国の医療事情(日本と比較して)	火傷をしたときに学内のヘルスセンターを利用しました。無料で診察していただきました。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	屋内は真冬でも半袖で生活できるほど熱くなっていることが多いです。また、寒暖差も激しいので体調管理が大切です。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと	
留学期間中に発砲事件は3回か4回起きました。どこにいても安全ということはないので、人気のないところや夜遅くはなるべく出歩かないように注意してください。	
(4) 食生活についてのアドバイス	
自炊すれば安いです。大学の近くにはスーパーがなく、買い物に行くには車で行く必要がありますが、週末には大学から無料のシャトルバスが出ているので利用すればよいと思います。アジアンマーケットもいくつかあるので、少し高いですが困ることはありません。普通のスーパーでも米や醤油などは買えます。毎週日曜日の夜にインターナショナルハウスが無料の夕食会を行っています。また、自分はそこで出会ったボランティアの人たちにスーパーに連れて行ってもらいました。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス	
乾燥していて日本みたいに蒸し暑くはありません。冬は寒いです。厚めの服はもっていっとくとよいと思いますが、現地の人はみんなかなり薄着です。真冬でもパーカーだけの人も少なくなく、屋内も厚いので、結局日本に帰ってくることを考えると、たくさんはもっていかなくていいと思います。	
(6) 学内外の施設・設備環境について(インターネット環境含む)	
全体的にとってもきれいです。特にジムは2017年にできたばかりで、大学の施設とは思えないほど大きいです。1セメスターを50ドルほどで利用できます。インターネットは基本的にWi-Fiだけで事足りますが、旅行中や友達との連絡をする際必ずしもWi-Fiが使えるとは限らないので、安いプランを契約するとよいと思います。	
(7) 現地学生や地域との交流について(どのような、機会・きっかけがありましたか?)	
インターナショナルハウスのイベントでたくさんの現地学生と知り合いになる機会がありました。また、学内には留学生と現地学生が交流するインターナショナルクラブや、日本人学生と現地学生が交流するJSAN(トークトーク)といったクラブもあります。その他のクラブにも参加することで、現地学生と知り合いになる機会はたくさんありました。また、IELCには会話パートナープログラムがありそれに応募することによっても知り合いができます。一番良いのは積極的に、いろ	

いろなクラブに参加してみることにしたいと思います。そうすれば、留学生と交流したいと思いい上りのようなクラブに入っているような現地学生以外とも交流できます。

(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等, 注意すべきこと

外国人と習慣やマナーが違うことは当たり前なので、受け入れる寛大な気持ちを持つことが大切です。気になるようであればしっかりと相手にそれを伝えることも、一緒に生活するうえで大切です。

(9) 日本か持っていくべきでないもの

余分な服。日本から持って行った冬服は厚手のダウンジャケット一着以外着ませんでした。セーターなど冬服はかさばるものが多いので極力もっていかなくてもいいと思います。もし必要であれば現地で買い、それを着まわせばいいと思います。

(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

リノではたくさんのイベントが開催されるので、前もって情報収集することが大切です。

### 6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	2020年3月 (当初の卒業予定年月 2019年3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input checked="" type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )
現在の状況および今後の予定・進路等	大学院に行く予定
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	工学部は、基本的にどう工夫しても卒業は一年遅れるので、特に焦って単位を多くとっておくようなことはしなくていいと思います。

### 7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等

書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント

### 8. 後輩へのメッセージ

2セメスター現地にいきましたが、常に来た時のことを忘れず積極的になることです。2セメスターは長い、1セメスターで帰る人を見送ったときは、まだもう1セメスターある、と思って気が付いたら終わっていました。外国にいる分余計に早く感じると思います。また必ずお金は使ってしまう。自分がしたいことができるように前もってお金はしっかりためていってください。2セメスター留学する場合は、冬期休暇が約1カ月あります。自分はこの休暇を利用してアメリカを横断しました。せっかく海外にいるので、自分のやりたいことにチャレンジし、限られた時間を有意義に過ごしてください。

## 9. 自由記述 (1,200 字程度)

### ①留学を終えての所感

留学を終えて今感じていることは、もっと長くいたかった、ということです。9カ月は本当に一瞬で過ぎました。そして英語力はもちろん向上しましたが、もっと話せるようになりたいとさらに思うようになりました。また、留学後も連絡を取り合っ、再会もするような友達がたくさんできました。充実した留学生活が送れたからこそ、短く感じたのだと思います。

### ②留学期間中、最も印象に残った体験・出来事

冬期休暇中にアメリカを横断したことです。一人で長期間旅をすることは、自分にとって初めてで不安もありましたが、無事に帰ってくることができ、自分への自信になりました。旅を通してたくさんの新しい人と出会い、その人たちと一緒にご飯を食べたり、日帰り観光に行ったりと、非常に密度の濃い時間を過ごすことができました。また、移動中のバス休憩で、運転手が時間内に戻っていない乗客がいることを知っているにもかかわらず、田舎のガソリンスタンドに置き去りにしていったり、営業時間中にオフィスに誰もいなかったりと、アメリカらしい日本との違いもたくさん経験し、いろいろな意味で思い出に残りました。

### ③留学の成果、留学前と比較して成長した点

英語力は、まだまだ満足していないもののかなり向上したと思います。特にスピーキングに関しては、以前よりも自分の考えを伝えることができるようになったと思います。授業ではプレゼンテーションをする機会が多くあり、自分の言葉で考えを伝える練習ができたと思います。留学中は常にルームメイトがいたので英語を話す機会に困ることはありませんでした。IELCに英語を勉強しに来ている同じ立場の人たちや、英語が母国語でない英語が堪能な人たちと会話することで、あまりプレッシャーを感じずにスピーキングを鍛えることができました。それだけでなく、ネイティブの友達と会話することで、日常会話やスラングなど実用的な英語を学ぶこともできました。

### ④今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか (将来のキャリアパスも含めて)

これからも英語の勉強を続け、将来は海外で働いてみたいです。また、留学を通して、特に韓国やチリ、コロンビアなどのスペイン語圏にたくさんの友達ができ、彼らが話している言葉を少しでも理解したいと思うようになりました。英語だけでなくそれ以外の言語も勉強したいと思っています。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます (氏名及び学生番号については、非公開とします)。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。